

## 「水銀に関する水俣条約第1回締約国会議」 の結果について



本年 9 月 24～29 日まで、スイス・ジュネーブにおいて「水銀に関する水俣条約第1回締約国会議 (COP1)」が開催されました。会議には約 150 か国から約 1200 名が参加し、我が国からは中川環境大臣をはじめとする政府代表団が出席しました。

本会合では、水俣条約の規定に基づき、締約国会議で決定すべき事項に関する議題が設定されました。

また、事務局の組織体制等の運営に関する事項、実施状況の報告等の技術的事項等の議論が行われ、条約の実施に必要な枠組みについての合意がなされました。

なお、日本は条約の運営を主導するビューロー会合 (COP の理事会に相当) のアジア・太平洋地域の代表としてヨルダンとともに選出され、会議の円滑な実施に貢献しました。

さらに、9 月 28、29 日には、閣僚級による会合「ハイレベル・セグメント」が開催され、閣僚級出席者が水俣条約の着実な実施に向けたメッセージを発信するとともに、COP1 議長であるマーク・シャルドネンス スイス環境庁長官が「Key take home message」として、各国がリーダーの主導のもと国レベルの対策を強化することの重要性を強調しました。

我が国は、中川環境大臣がステートメントを述べ、水俣病の経験を踏まえて、我が国が有する水銀による被害を防ぐための技術やノウハウを世界に積極的に伝えていく決意を表明しました。

なお、ハイレベル・セグメントの開会に先立ち、特別イベント「A Moment to Minamata」が開催され、日本からは西田弘志水俣市長、胎児性水俣病患者の坂本しのぶさん、環境省が任命した水俣条約親善大使「MOYAI アンバサダー」の澤井聖奈さんらが登壇して、水俣病の教訓を踏まえて水銀対策を推進していくことの重要性を伝えました。

当社では、水銀、カドミウム、鉛など有害金属の製品や環境分析において実績があります。お気軽にお問い合わせください。

資料 2017 年 10 月 2 日付 環境省報道発表資料

分析技術箇所 竹下尚長